

柏原・水富地区会

● ぶらり散策 柏原 (史跡めぐり-1)

## 館の主は柏原太郎? ... それとも入間川殿?

11月14日(火) 県民の日、柏原地区9人、水富地区3人、計12人の方々が柏原公民館前に集合。今日は柏原史跡巡りツアーの日です。雲ひとつない澄み切った青空のもと、先ずは軽く準備体操をします。〇黒さんからおやつ🍡を頂戴して、いざ永代寺に出発。ご住職から木造不動明王、二童子立像などの説明を受けました。境内の石仏の宝篋印塔・三界万霊供養塔・霊場巡礼供養塔は、お手製の秘蔵ファイルを見せて頂きながら、井口講師から懇切丁寧なお話を伺いました。



つぎの目的地は上宿の庚申塔です。塔には青面金剛や三猿、鶏などが描かれ、信仰の経緯を解りやすく説明して頂きました。皆さん目を輝かせ、意欲的に質問をしていました。和気あいあいと雑談も弾みながら、常楽寺(妙法山常楽寺)に到着です。宗派は天台宗で、江戸音羽町普門院の末寺と言われているそうです。石仏は七親音の石仏(天保15年)・半跏夫座の地藏菩薩(宝暦7年)が着座し、二世安楽・極楽往生を願い、当寺の住職典英の指導で建てたものとお話でした。

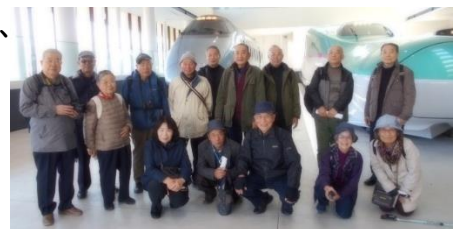
さらに先人たちの跡をたどる旅は城山砦へと続きます。城山砦は柏原を本拠地とした武蔵武士の柏原太郎の館跡ではないかという説があるそうです。柏原太郎は源頼朝の奥州藤原氏征伐の先陣、畠山重忠の従軍5騎のうちの1人です。また、初代鎌倉公方で「入間川殿」と呼ばれた足利基氏が、南北朝時代に防御の要として9年余り長期滞陣した出城という説もあるとの事でした。楽しそうに説明、案内して下さる講師のお話に聞き入り、古典を紐解くワクワク感が堪らない、非日常的なひと時でした。(覆平)



11月27日(月)、本川越駅集合、参加者は18人。年末のように寒かった前日から一転、秋晴れの穏やかな日差しの中を徒歩で川越市駅に向かいました。10分弱で駅に到着。東武東上線、JR川越線を乗り継いで大宮駅へ、そこからニューシャトルで一駅の鉄道博物館駅で降車します。改札を出ると、博物館まで続く通路には馴染みのある列車の時刻表が描かれていて、鉄道らしい雰囲気を作り出しています。

写真スポットで集合写真を撮り、見学開始。各自がそれぞれのペースで、好みに合わせて館内を巡ります。歴代車両の展示、開業から現代までの歴史、車両模型、鉄道に関わる仕事、シミュレータや体験教室等々、博物館に相応しい展示や映像、体験や学習プログラムなどが盛りだくさんで、マニアであれば一日中楽しむことができそうです。子供用のコーナーがいくつもあり、小学生の団体や小さな子供連れの家族なども多く来館していました。鉄道文化ギャラリーのコーナーでは、鉄道にちなんだ文学・映画・音楽・絵画・駅弁などが展示してあり、鉄道は交通機関としてだけでなく、広く文化としても社会との関わりが深いことを改めて感じました。

約3時間の見学を終えて、14時に正面入口に集合。見学会はここで解散です。以後は自由行動となりましたが、広い館内を歩き回ったせいかお疲れで、真っすぐ帰路につく人が多かったようです。(荒井)

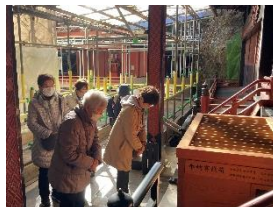


# 笑い溢れる車内、初対面の人とも仲良しに…

午前7時50分、**榛名神社**に向けて「楽友会大人の遠足」は出発した。42名の参加者で、バスの中は出発直後から笑いが充満、トークに花が咲く。前橋ICから一般道へ。10時30分、榛名神社に到着。巖山（いわやま）の中腹、15万㎡の境内にある榛名神社は、最近パワースポットとして人気を博している。入口の鳥居から700mの参道は清流に沿い、老杉が空を覆い、巨岩奇岩の数々としんと静まり返った空気に、身も心も洗われるようだ。本社・幣殿・拝殿（本殿）は保存修理工事中のため国祖社で参拝となったが、皆さんパワーを十分に身体に満たした様子である。約1時間ゆったりと参拝した後、全員の記念写真を撮り、次の予定の高崎市の昼食場所に向けて発車した。



榛名神社参道入口にて（野中国廣さん提供）



途中で予期せぬ**アクシデント**。急なカーブでバスが乗用車と接触してしまったのだ。幸いけが人は無く、お互いの車も軽微な損傷だったが、警察を呼んでの事故処理に1時間以上を費やしてしまった。しかし、車内の皆さんは不平不満を言うでもなく、楽しくおしゃべりをしたり、外の紅葉をながめている。

結局、高崎市の「**登利平**（とりへい）本店」に到着したのは1時間20分遅れ。名物の上州鳥めし重に舌鼓を打つことができた。食事後幹事から予定変更の提案があり、群馬県庁の見学をあきらめて最終目的地のガトーフェスタハラダに向かうこととなった。全員が快く納得して下さったが、「群馬県出身だから、最近の県庁の様子を見学したかった」とつぶやく人もいた。正しい選択だったとは思いますが、さぞ心残りであっただろう。申し訳ないことである。



やっとありついた鳥めし重は美味しかった！



ここぞとばかりにお土産を買う……

15時30分、**ガトーフェスタハラダ**に到着。まず目を引いたのは建物の立派さとショップに並ぶ行列だ。入館後すぐに生ラスクの試食、……とてもうまい！そして工場見学もそこそこにショップに直行。出発時刻には、皆たくさんのお土産を抱えて戻ってきていた。ラスクとは、製造工程はいたってシンプルなのに、なぜこんなに人気なのだろう。

16時10分、一路狭山に向けて出発。途中添乗員さんから「DVDでも流しますか」と提案されたが断り、そのまま自由交流を続けた。相変わらず車内の笑い声は絶えない。途中、ある参加者がツアーの「しおり」に書かれた『大人の遠足第1弾』を指して「第2弾はいつですか？今度は何処へ行きますか？」と質問した。「しおり」を制作した幹事の1人が次回を期して記載しておいたのだろう。同行した幹事一同、「じゃあ、やるか」ということになった。17時15分、狭山市西口帰着。ほぼ予定どおりである。降車時に参加者の皆さんから、「楽しかった」「有り難う」「初対面の人と仲良くなったよ」「また必ず誘ってね」等々の声をかけられたことに胸が熱くなる。全員が降車した後、「さて」とリュックを背負い空を仰ぐと、濃くなり始めた紺色の中天に星がひとつ、ふたつ輝いていた。

（会長 黒川昭）



ライトアップして皆さんをお出迎えの狭山市駅